

		3月	4月	5月	第1四半期	6月	7月	8月	第2四半期	上半期計
既存店	売上高	67.6	39.4	75.9	60.4	100.8	81.8	77.5	86.9	73.2
	客数	64.2	37.5	67.8	55.9	87.5	70.7	71.3	76.0	66.6
	客単価	105.2	105.0	111.9	108.1	115.2	115.7	108.6	114.3	109.9
全店	売上高	63.9	36.4	70.6	56.4	95.1	78.2	75.6	83.3	69.3
	客数	60.4	34.3	62.6	51.8	81.5	67.2	69.8	72.6	62.7
	客単価	105.8	106.1	112.9	109.0	116.6	116.4	108.4	114.7	110.5
店舗数	新店	6	0	2	8	1	0	0	1	9
	退店	3	1	3	7	1	0	5	6	13
	店舗数	374	373	372	372	372	372	367	367	367

		9月	10月	11月	第3四半期	12月	1月	2月	第4四半期	下半期計	年度計
既存店	売上高										73.2
	客数										66.6
	客単価										109.9
全店	売上高										69.3
	客数										62.7
	客単価										110.5
店舗数	新店										9
	退店										13
	店舗数										367

(注) 既存店は出店から14ヶ月経過した店舗であり、対象店舗数は毎月変動いたします。  
また、月間に1日も稼動していない店休店舗については既存店の対象外としております。  
尚、上記数値は速報値です。本速報は原則として毎月初第2営業日までに発表いたします。  
速報数値と確定数値に差異が生じる場合は、翌月の速報発表時に修正してお知らせいたします。

## 概況

当月は、旅行や帰省自粛などにより外出需要が減少し、お盆商戦が振るわずに前年を大きく下回りました。商品動向としては、梅雨明け後に気温が上昇したものの、この時期に構成比の高いメンズのTシャツやショートパンツが低調に推移しました。一方で、レディース及びキッズのTシャツ、メンズ及びレディースのトレンド性の高いボトムスが堅調に推移しました。また、冷感マスクの需要が高く好調に推移しました。地区別では関東地区、沖縄県を含む九州地区の落ち込みが大きくなりました。これらの結果、当月の既存店・全店売上高は上記の通りとなりました。

## 新店

なし

## 退店

O J ちとせモール店、MHO イオンタウン佐野店、MH ポートウォークみなと店、MH 一宮花池店、MH リム・ふくやま店

## 店舗数

マックハウス：336店

(内、マックハウス グランドアリーナ：1店、マックハウス スーパーストア：12店、

マックハウス スーパーストア フェューチャー：57店、マックハウス アーバンストア：6店、

マックハウス アウトレット：7店)、

マックハウスプラザ：9店、アウトレット J：11店、ブルーベリー：1店、ゴールウェイ：1店、

ネイビーストア：1店、ネイビー：8店

合計 367店

MH：マックハウス、MHGA：マックハウス グランドアリーナ、  
MHSS：マックハウス スーパーストア、MHSSF：マックハウス スーパーストアフェューチャー、  
MHUS：マックハウス アーバンストア、MHO：マックハウス アウトレット、  
MHP：マックハウスプラザ、O J：アウトレットJ、BB：ブルーベリー、GW：ゴールウェイ、  
NVS：ネイビーストア、NAVY®：ネイビー

## その他

第2四半期決算発表は、10月9日(金)を予定しております。

尚、決算発表までの間は業績等に関するご質問にはお答えできませんので、ご了承下さい。